

第45回 一線美術会武蔵野支部展を終えて

武蔵野支部長 川 島 肇

- 会 期…平成30年6月8日(金)～12日(火)
- 会 場…武蔵野市民文化会館展示室

第45回武蔵野支部展は平成30年6月8日(金)から12日(火)の5日間、改装工事を終えリニューアルした武蔵野市民文化会館展示室で開催しました。

出品者13名、展示点数43点、来場者は300名前後でした。諸事情で出品を見送った会員もいましたが、新人4名を加え13名の作品展示ができました。

会場の設営は初日9時から参加者全員の協力で行いました。改装された展示室は、天井の高さは3メートルと100号程度までの絵が飾りやすく、室内照明も改善されて展示壁面の均一な明るさが確保されていました。スポットライトが不要で、飾り付けワイヤーの調整も容易



となり効率よく展示できました。作品は100～60号9点、50～20号22点、15号～6号12点と全43点の力作が並びました。

飾り付け後、会館2階のレストランで恒例の食事会を行いました。新人の紹介と全員の近況報告を行い、和気あいあいのうちに食事会を終え、13時のオープニングとなりました。

今回も地元の美術愛好家の方が開場を待って一番で入場、熱心に観覧していました。

初日は橋本理事長初め高木副理事長・小林理事・佐野理事・桶谷参与ほか、神奈川・東京・常総支部の方々のご来場をいただき、全作品を丁寧に見て、個々の作品に対して適切なご指導をいただきました。

初めて支部展に出品された人は大勢の先生方のアドバイスを受け、これからの創作活動に大変参考になったと喜び、秋の本展に応募したいと大いに意欲を燃やしていました。また、会員も出品予定作品に細部にわたり質問をしたりして貴重なアドバイスを受けていました。10月の本展に向け、アドバイスを生かして精力的に制作活動することと思います。

根岸・藤森両先生には、台風は海岸沿いに通過したものの強い雨のなか遠方からお出で頂き、丁寧に観て色々アドバイスをいただきました。アドバイスは当番がしっかりと本人に伝えました。

支部展は地域の絵画愛好者から高く評価され、展覧会を見てぜひ武蔵野支部に入会したいと申し出る方もおり、先ずは支部展からとのことでした。小品部門新設に関心を持たれた方には一線美術会の宣伝もできました。多摩地区の広域に配布されるタウン紙「アサココ」、西多摩新聞の催し物ガイド、西の風新聞のイベントガイドにも武蔵野展の旨を掲載したので、これらを見て会場に来られた方もいました。

最終日は記念写真を撮り来年の支部展に向けて健康には十分に留意しながらいい作品作りに精進・努力することを誓って散会しました。

貴重なご指導・ご指摘を糧に支部会員一同いい絵作りに努力いたします。

